

宮崎興二《夢幻次元のパノラマ》1964年～2020年 ※全16点のうち2点 作家蔵

西脇市岡之山美術館では、このたび、アートとサイエンスをつなぐ多面体や多次元のかたちの研究で国際的に知られる宮崎興二の個展を開催します。

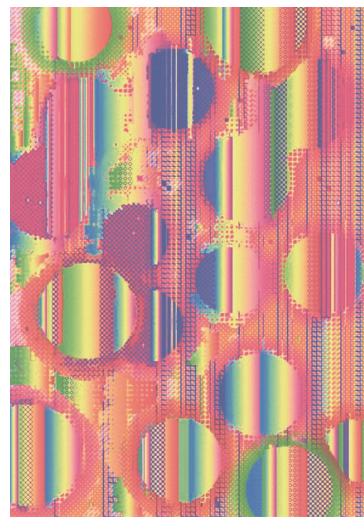
宮崎興二は1940年に生まれ、10歳のとき日本赤十字社の小学生向きポスターコンクールで最優秀賞を受賞して以来、絵画に目覚

め、その後幾何学好きを活かして建築工芸学の道に進んで、図形科学、建築、アート、文化史、幾何学などの多領域的なテーマを巡りながら独創的な研究・創作に携わってきました。80歳を迎えてなお、さまざまな著述や作品制作などの分野で旺盛な活動を展開しています。

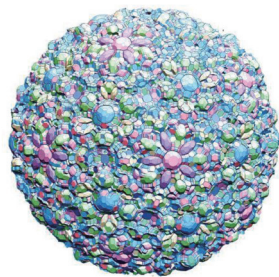
本展では、1964年から2020年にわたって、自らのライフワークとして綿々と描き続けてきた《夢幻次元のパノラマ》と名付けられた、知られざる水彩のシリーズ作品16点を一堂に展示します。この作品は、折に触れて各地で部分的に公開し、批評を仰ぎながら、その意見を取り入れて継続的に加筆されてきたものです。これまでまとめて公開されることがなかった作品からは、建築関

係の高次元図形科学者として知られるとともに、一人の画家、芸術家としてあり続けてきた宮崎興二の類まれな想像力のありさまが如実にうかがわれます。

今回、宮崎興二の美術館における初の本格的な個展として、上記の完成作品とともに、ユーモアのセンスにあふれ、鋭い空間感覚と高次元図形の理解をもとにした多彩なドロ잉や高次元グラフィティのイメージ、さらにゆかりのある研究者や専門家のイメージなどを紹介し、芸術家かつ工学者としての宮崎興二の世界の魅力に迫ります。



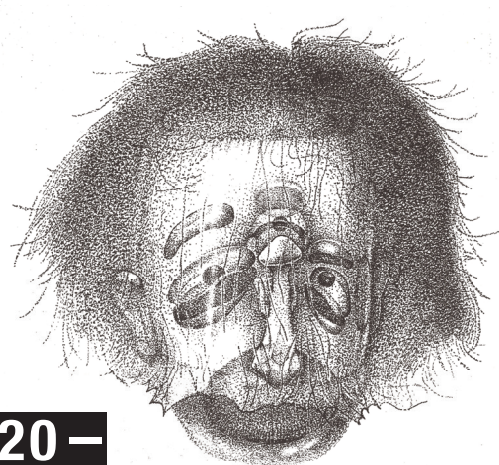
宮崎興二《デジタル抽象画》2019年 作家蔵



山口哲《ソノトープ》1995年 宮崎興二蔵 ※後期展示



斎藤幸恵《4次元のクジャク》2010年 宮崎興二蔵 ※後期展示



宮崎興二《4次元のインシュタイン》1980年 作家蔵

4D MUSEUM MIYAZAKI KOJI-1964-2020-

宮崎興二の4次元ミュージアム展

2020.6.2(火)▶▶▶▶12.6(日)

10:00-17:00 入館 16:30 まで

前期 6.2(火)▶▶▶▶8.30(日)

後期 9.6(日)▶▶▶▶12.6(日)

休館日▶

月曜日(祝日の場合は翌日)と祝日の翌日

※8.11(火)は臨時開館

※展示替え:8.31(月)～9.5(土)

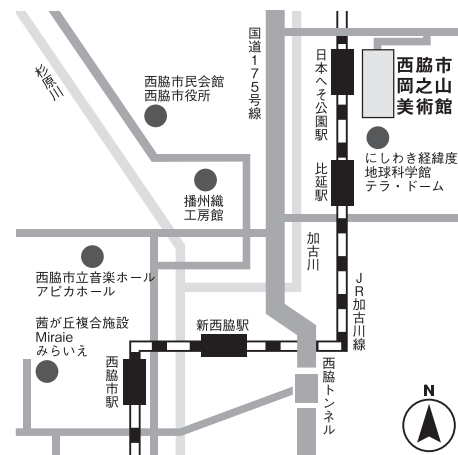
入館料 大人 300円(250円) 高大生 200円(150円)
シルバー 250円(200円) 小中生 100円(70円)

※()内20名以上の団体割引料金※障がい者割引有 ※ココロカード利用可
※65歳以上の方は、年齢確認のできるものをご提示ください。

イベント・ワークショップ等

詳細は決定次第ホームページ等でお知らせします。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>



電 車: JR加古川線「日本へそ公園」駅前
バ ス: 大阪・三宮から神姫バス(西脇行き)
「西脇(アピカ)」からタクシー10分
自動車: 中国自動車道・滝野社ICから15分

公益財団法人 西脇市文化・スポーツ振興財団
西脇市岡之山美術館

〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町345-1

東経135度北緯35度交差点日本へそ公園内

TEL/FAX▶0795-23-6223

E-mail▶okanoyamamuseum@galaxy.ocn.ne.jp

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>